

# ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) (かしこく使うコース) (充実して楽しむコース)

愛称：最高の人生の描き方



## 設定1周年のメッセージと第6期決算および分配金のお支払いについて

平素は「ライフ・ジャーニー（かしこく育てるコース）（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは、設定日（2018年5月16日）から約1年となりました。つきましては、当ファンドの運用を実質的に担当しているブラックロック\*のコメントをご紹介いたします。

また、「ライフ・ジャーニー（かしこく使うコース）」および「ライフ・ジャーニー（充実して楽しむコース）」は2019年5月15日に第6期決算を迎えることとなりましたので、今後の市場見通し等とあわせてご報告いたします。

\*ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドを含むブラックロック・グループを指します。以下同じ。

### 設定1周年のメッセージ

以下、当ファンドの運用を実質的に担当するブラックロックによる4月末現在のコメントをご紹介します。

当ファンドは、人生100年時代を迎える中、「退職世代（年金世代）とその準備世代」の皆さまのさまざまな資金活用ニーズにお応えすることを目標に設定されました。ブラックロック独自の「ジャパン・エンハンスト・ストラテジック・モデル」を活用し、中長期的な目標を目指した最適な資産配分を行ってまいります。

2018年末にかけての株式市場の大きな下落に伴い、当ファンドの基準価額も下落しましたが、ブラックロックではこれを一時的な現象と判断し、運用内容の大きな変更は行いませんでした。その後、株式市場の回復により、足元の基準価額は持ち直しをみせています。

当ファンドは、中長期的な目標リターンとして短期金利相当分 + 年3%程度\*を目指しています。足元の円金利はほぼゼロという状況下にありますが、今後難しい局面を迎えてでもブラックロックの豊富な知見で乗り越えながら、皆さまの大切な資産を長期にわたって育てるよう努めてまいります。

\*信託報酬および投資対象とする外国投資信託の運用報酬等控除後。

今後もお客様のご期待に応えるべく、目標とする運用を行い、当ファンドの資産を中長期的に拡大していきたいと考えておりますので、末永く、当ファンドをご愛顧頂ければ幸いです。

皆さまの人生の旅（ライフ・ジャーニー）がより素敵なものになりますように。



(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) （かしこく育てるコース）は2019年5月15日現在において分配を行っておりません。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ ファンド購入時には、購入時手数料かかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは8ページをご覧ください。

## 分配実績（1万口当たり、税引前）

（かしこく使うコース）および（充実して楽しむコース）は、2018年5月16日に設定され、この度第6期決算（2019年5月15日）を迎えました。分配方針に基づき各コースの目標分配率と決算日の基準価額水準を勘案した結果、分配金額は（かしこく使うコース）47円、（充実して楽しむコース）93円としました。なお、分配金お支払い後の基準価額は（かしこく使うコース）9,488円、（充実して楽しむコース）9,261円となっています。

### （かしこく使うコース）

決算期	-	2019/1/15	2019/3/15	2019/5/15	設定来累計
	第1～3期	第4期	第5期	第6期	(2019/5/15まで)
分配金 (対前期末基準価額比率)	98円 (1.0%)	46円 (0.5%)	48円 (0.5%)	47円 (0.5%)	239円 (2.4%)
騰落率 (税引前分配金再投資ベース)	-2.8%	-4.4%	5.8%	-1.1%	-2.7%

### （充実して楽しむコース）

決算期	-	2019/1/15	2019/3/15	2019/5/15	設定来累計
	第1～3期	第4期	第5期	第6期	(2019/5/15まで)
分配金 (対前期末基準価額比率)	196円 (2.0%)	91円 (1.0%)	95円 (1.1%)	93円 (1.0%)	475円 (4.8%)
騰落率 (税引前分配金再投資ベース)	-2.7%	-4.4%	5.8%	-1.1%	-2.6%

### 分配方針

- 年6回（原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。
- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 分配金額は、委託会社が以下の目標分配率に基づき決定します。

（かしこく使うコース） 年3%（各決算時0.5%）相当

（充実して楽しむコース） 年6%（各決算時1%）相当

（注1）「対前期末基準価額比率」は、各期の分配金（税引前）の前期末基準価額（分配金お支払い後）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。第1～3期と設定来累計の欄は、それぞれの分配金累計（税引前）の設定時10,000円に対する比率です。

（注2）騰落率は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。また、騰落率は設定来累計を除き、期中騰落率を記載しています。税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しています。

（注3）目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。また、各コースの利回りを示唆あるいは保証するものではありません。

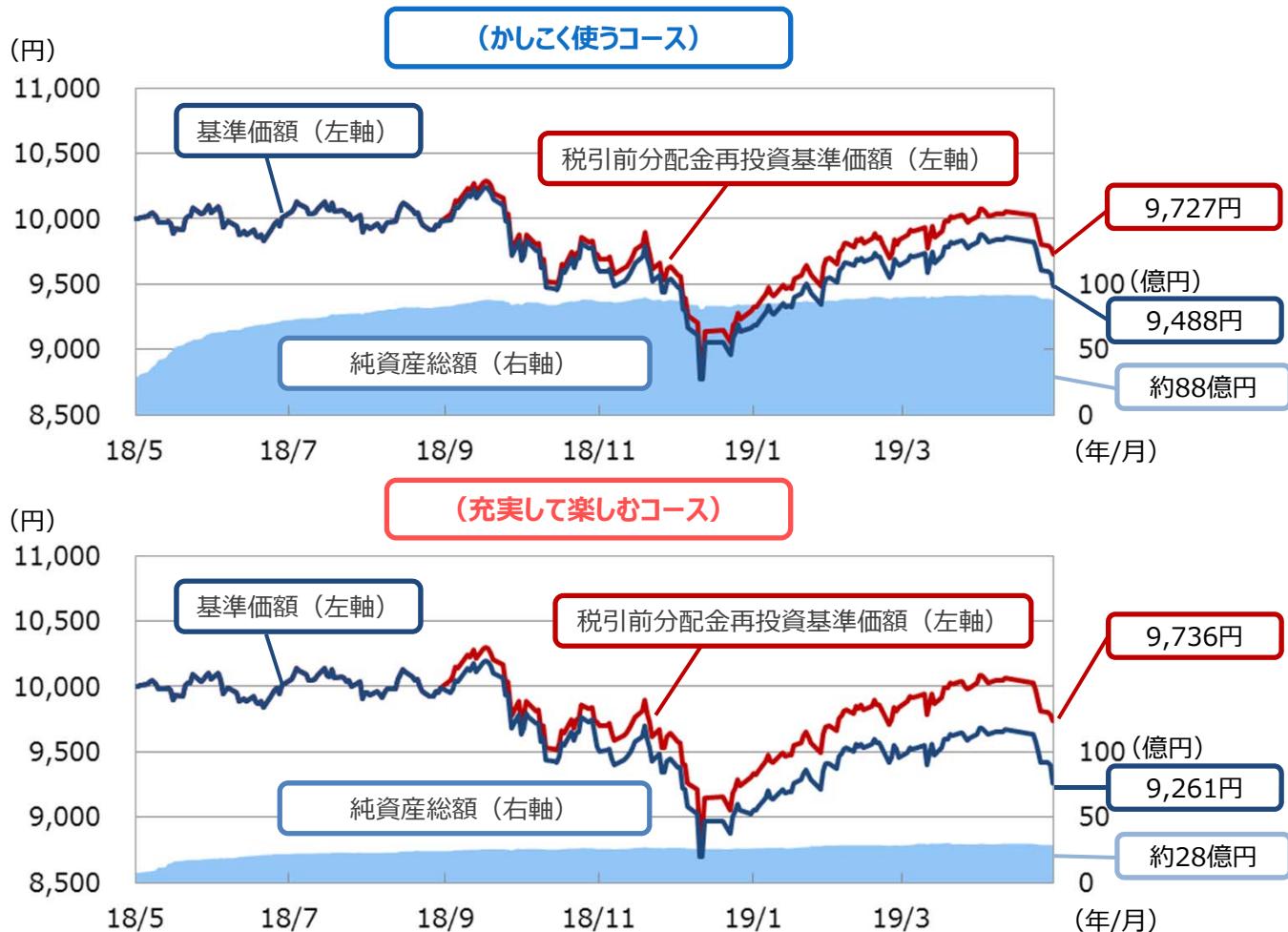
（注4）目標分配率は、各コースの決算日の基準価額に対する比率となります。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配を保証するものではありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ファンド購入時には、購入時手数料かかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などかかる場合があります。詳しくは8ページをご覧ください。



## 基準価額と純資産総額の推移 (2018年5月16日 (設定日) ~2019年5月15日)



(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

## 市場見通しおよび今後の運用方針

以下は、当ファンドの運用を実質的に担当するブラックロックから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

### <市場見通し>

- 一部の景気指標には減速感がみられるものの、引き続き堅調な水準にあります。米国の利上げ一時停止等、金融政策面のサポートも期待されることから、株式等リスク性資産が選好されやすい展開を見込んでいます。債券市場は足元で落ち着いた動きとなっていますが、今後更に堅調な景気動向となった場合、再び金利上昇の可能性が高まると考えられます。新興国では、中国の景気刺激的な財政政策・金融政策等を背景に、当面大きな下落は見込まないものの、米国の金利環境次第では再び新興国からの資金流出が発生する可能性に留意する必要があると考えます。
- 全体として、株式市場は上昇が想定される一方、債券市場についてはゆるやかに金利が上昇する（債券価格が下落する）環境を見込んでいます。一方、年初来の株価急騰をうけて、短期的には株価上昇余地がやや縮小していると考えられることや、米中貿易交渉、英国のEU離脱交渉といった地政学的リスクが今後も相場の不安定要因となるとの見方から、足元は株式の配分を若干削減し、債券等の配分を引き上げています。

### <今後の運用方針>

- 引き続き米国・日本等における金融政策見通しの市場における織り込み度合いを見極める方針ですが、短期的には米国・欧州等の地政学的リスクが資産価格へ与える影響等について特に留意しつつ、運用を行います。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※上記の市場見通しおよび今後の運用方針は当資料作成時点のものであり、当ファンドの将来の運用成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは8ページをご覧ください。

## ファンドの特色

1. 「退職世代（年金世代）とその準備世代」のさまざまな資産活用ニーズに対応します。資産成長と資金払出の割合の違いによる、3つのコースからご選択いただけます。また、各コース間でスイッチングが可能です。

- 世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。

- 中長期的な目標リターンとして短期金利相当分+年3%程度※を目指して資産配分を行います。

※目標リターン（短期金利相当分+年3%程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。

※各コースの信託報酬および各コースが投資対象とする外国投資信託の運用報酬等控除後のものです。

- （かしこく育てるコース）は、年2回（原則として毎年3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。

- （かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）は、年6回（原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。

（かしこく使うコース）は、目標分配率を年3%（各決算時0.5%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。（充実して楽しむコース）は、目標分配率を年6%（各決算時1%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### <ご留意いただきたい事項>

#### ●目標リターンについて

・目標リターン（短期金利相当分+年3%程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。

・目標リターンに用いる短期金利は、2018年9月末現在、1ヵ月円LIBORを基に算出するものを指しますが、市場環境に応じて類似の指標を用いることがあるほか、予告なく変更する場合があります。

#### ●目標分配率について

・目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。また、各コースの利回りを示唆あるいは保証するものではありません。

・目標分配率は、各コースの決算日の基準価額に対する比率となります。

・（充実して楽しむコース）は、中長期的な目標リターンを達成した場合においても、それよりも多くを分配（資金払出）するため、実質投資元本の取崩しとなります。そのため投資元本は小さくなり、結果的に概ね分配の都度分配金の金額は小さくなっています。

#### ●分配金について

・（かしこく使うコース）および（充実して楽しむコース）の分配金は、投資収益にかかわらず目標分配率に応じて払い出すため、投資収益が目標リターンを下回る場合には、分配金の一部または全部が元本取崩しによって充当されます。

## 2. 実質的な運用は、運用資産残高で世界最大級の運用会社であるブラックロック\*が行います。

- 投資対象とする外国投資信託の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。

\* ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドを含むブラックロック・グループを指します。

- 外国投資信託は、主として上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。

- 各資産への投資割合は、各資産についてブラックロックが推計する中長期的に期待される収益率およびリスク等を基に最適化を行い、変動リスク水準があらかじめ定めた目標程度となるように決定されます。また、変動リスク水準が目標から大きく外れる場合は、資産配分を機動的に見直す、あるいは現金比率を高める場合があります。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。



## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託が投資対象とするETF等は、主として内外の株式、債券および不動産投資信託（リート）を投資対象としており、その価格は、保有する株式、債券および不動産投資信託（リート）の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。ファンドが組み入れる投資信託が投資対象とするETF等の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。

**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**  
運用の結果としてファンドに生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、ファンドは**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものではありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

#### ■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

#### ■ 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことになります。

#### ■ 不動産投資信託（リート）に関するリスク

リートの価格は、不動産市況や金利・景気動向、関連法制度（税制、建築規制、会計制度等）の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み入れられている個々の不動産等の市場価値、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等により個々の不動産等の毀損・滅失が生じる可能性もあります。さらに個々のリートは一般的の法人と同様、運営如何によっては倒産の可能性もあります。これらの影響により、ファンドが組み入れているリートの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

#### ■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

#### ■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することになります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

投資対象とする外国投資信託においては、債券に投資するETFについて為替ヘッジ付きのものとする場合は、為替変動の影響は軽減されます。

#### ■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

#### ■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流入出に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

## 分配金に関する留意事項

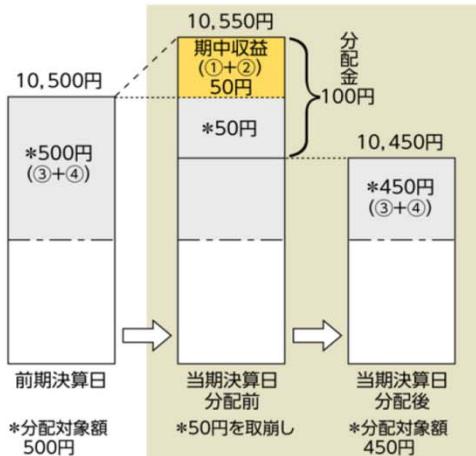
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われるとき、その金額相当分、基準価額は下がります。



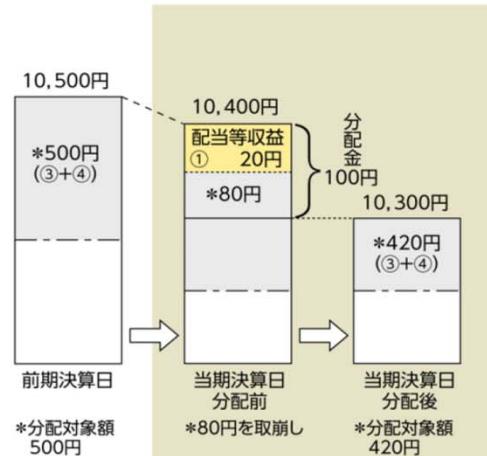
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。  
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## (計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

## 〔前期決算日から基準価額が上昇した場合〕



## 〔前期決算日から基準価額が下落した場合〕



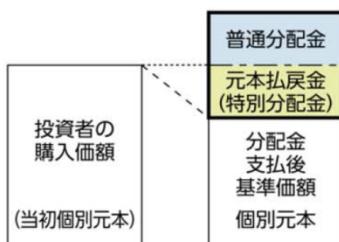
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

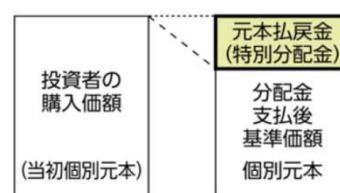
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 〔分配金の一部が元本の一部戻しに相当する場合〕



※元本戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

## 〔分配金の全部が元本の一部戻しに相当する場合〕



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

**お申込みメモ****購入単位**

販売会社または委託会社にお問い合わせください。

**購入価額**

購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。

ただし、累積投資契約に基づく分配金の再投資の場合は、各計算期末の基準価額となります。

**購入代金**

販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

**換金単位**

販売会社または委託会社にお問い合わせください。

**換金価額**

換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。

**換金代金**

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降にお支払いします。

**信託期間**

無期限です。（信託設定日：2018年5月16日）

**繰上償還**

委託会社は、各ファンドの基準価額（1万口当たり。支払済み分配金を加算しません。）が2,000円を下回った場合、短期金融商品等による安定運用に順次切換えを行い、基準価額が2,000円を下回った日の翌営業日から起算して3ヵ月以内に繰上償還します。

委託会社は、各ファンドの投資対象とする外国投資信託が信託を終了した場合または外国投資信託の分配方針の変更により各ファンドの商品の同一性が失われる場合には、繰上償還します。

委託会社は、受益者にとって有利であると認めるとき、各ファンドの残存口数が20億口を下回ることになったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、あらかじめ受益者に書面により通知する等の所定の手続きを経て、繰上償還させることができます。

**決算日**

（かしこく育てるコース）

毎年3月および9月の15日（休業日の場合は翌営業日）

（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）

毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日（休業日の場合は翌営業日）

**収益分配**

（かしこく育てるコース）

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

<共通>

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

**課税関係**

課税上は株式投資信託として取り扱われます。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。

ただし、販売会社によっては当ファンドをNISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

配当控除の適用はありません。

※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

**お申込不可日**

ありません。

※申込不可日は投資する投資信託が投資対象とするETFの変更等に伴い変更される場合があります。



## お申込みメモ

## スイッチング

販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## ファンドの費用

## 投資者が直接的に負担する費用

 購入時手数料

購入価額に2.16%（税抜き2.00%）を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

 信託財産留保額

ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

 運用管理費用（信託報酬）

ファンドの純資産総額に年1.1124%（税抜き1.03%）の率を乗じた額です。

※投資対象とする投資信託の信託報酬を含めた場合、最大年1.9388%（税抜き1.81%）となります。投資対象とする投資信託が組入れを行っているETFの管理費用を含んでいます。管理費用は変動する場合があります。

 その他の費用・手数料

上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々の取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※ ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

## 税金

## 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

## 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 謹渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（謹渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

## 委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ： <https://www.smd-am.co.jp>

フリーダイヤル： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

株式会社 S M B C 信託銀行

## 販売会社

ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。



## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	金融一般社団法人取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○				
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○		
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第11号	○				※1
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○	○		
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第12号	○				※2
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○				

## 備考欄について

※1：「かしこく育てるコース」、「かしこく使うコース」のみのお取扱いとなります。

※2：2019年5月20日よりお取扱いを開始する予定です。

## 重要な注意事項

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2019年5月15日



三井住友DSアセットマネジメント